

授業概要

この科目は、学科専門科目であり、かつ言語・コミュニケーション領域の2・3年次生配当の科目であるので、日本文学（古典）の専門的な内容も含むものとした。具体的には、『徒然草』の一話一話を、写本もしくは版本で読み受講生が順に担当して発表してもらうこととする。調べ方、発表の準備の仕方、参考図書の調べ方、資料の作り方等は、事前にこちらから説明した上で取りかかってもらうので、現時点ではそれらの知識は必要ない。ただ、積極的な姿勢での受講を是非とも願います。

授業計画

第1回	導入
第2回	兼好と『徒然草』について、写本と版本について
第3回	調べ方と準備の仕方（1）・変体仮名について
第4回	調べ方と準備の仕方（2）・発表割り振り
第5回	発表の仕方
第6回	発表（1）
第7回	発表（2）
第8回	発表（3）
第9回	発表（4）
第10回	発表（5）
第11回	発表（6）
第12回	発表（7）
第13回	発表（8）
第14回	発表（9）
第15回	発表（10）
第16回	定期試験

到達目標

各自で事前に調べて発表してもらうので、2週間程前から準備をして当日にきちんと発表できるということを目指す。また発表を聞く側の学生に対しても、発表の内容について質問をするという姿勢を求めたい。

履修上の注意

授業の始まる時点では、多くの知識は必要としないが、文法的な事項も含めて古典文学の知識をその都度補っていくこととなるので、積極的な姿勢で臨んでいただきたい。当たり前のことだが、自分の発表時に欠席することは絶対にあってはならない。自分の発表時だけでなく、人の発表に対して質問をするという姿勢をお願いする。

予習・復習

発表の準備に2週間程度の時間をかけて進めてもらうことが、予習の大きな部分だろう。それ以外に他の人の発表に対しても質問をするための準備もお願いしたい。

評価方法

作成資料を含む発表の内容および定期試験の結果（80パーセント）と質問等による授業への参加状況（20パーセント）を総合的に評価する。

テキスト

特に指定しない。資料その他については授業の中で指示することとする。